

# 平成25年度の主な事業(案)

総合計画に定める多くの施策の実現のため、税金や行政改革などによって生み出した限りある貴重な財源を、防災・福祉・環境・商工・観光・教育など各分野にわたり、その礎を構築します。

平成25年度に計画している事業・施策(案)のうち、新規・拡大事業を中心に紹介します。

## 安全に安心して暮らせるまち

□防災行政無線統合操作システムの構築 5292万円

合併前に整備した豊岡、城崎、日高、出石それぞれの防災行政無線システムの統合操作システムを構築します。

□学校施設(幼稚園含む)の改修事業 6350万円

老朽化した施設設備の緊急を要する修理および改修を行います。

□日高防災公園の整備

1億1500万円  
日高地域の旧蚕業技術センター跡地(日高町祢布)に防災公園を整備します。

□戸籍副本データ管理システムの構築 205万円

市の戸籍正本データと管轄法務局の戸籍副本データの同

時消滅を防止するため、戸籍システムの改修を行います。

□歩いて暮らすまちづくり構想の推進 1242万円

歩いて暮らすことを基本とした健康づくりを推進するため、健康ワンポイント情報を発信し、健康ポイント制度、健康づくり推進モデル事業、健康クラウド整備を継続して行います。

□周産期医療センターの整備 7340万円

但馬の産科を守り、ハイリスクの妊娠、胎児、新生児に対応する周産期医療センターを豊岡病院に整備するための負担金を拠出します。

□救急情報キットの配布

182万円  
一人暮らし高齢者等に、救急時に必要な情報を特定の場所に保管する救急情報キット



▲歩いて暮らすまちづくり構想の推進(竹野浜潮風浴歩キングコース)



▲周産期医療センターの整備(公立豊岡病院)



▲観光事業の推進(ことりっぷ)

を配布します。

□障害者相談支援事業所の充実 4452万円

障害者の相談支援事業所の充実を図ります。また、障害者の虐待防止や早期発見、関係機関等との協力体制、相談支援体制の強化を図ります。

## 人と自然が共生するまち

□コウノトリ生息地保全対策事業 1497万円

コウノトリの生息地保全を進めるため、生息地保全管理作業員を新たに配置し、市内湿地ネットワークの機能向上を図ります。

□加陽湿地拠点整備事業 363万円

国土交通省による自然再生事業として整備が進められています。市は閉鎖型湿地部分の管理に関わり、加陽湿地を中心とした新たな拠点の夢を描く「加陽湿地整備・管理計画」を策定します。

□コウノトリ野生復帰・ひょうご豊岡モデル・検証事業 421万円

コウノトリ野生復帰を核に進められてきた多岐にわたる取組みを、総合的に評価・検

証し、「ひょうご豊岡モデル」として形にまとめます。

□ライフスタイルの共同研究 100万円

昔の生活の知恵から未来の豊かな暮らしをデザインするヒントを見つけ出し、そこから「豊岡らしさ」を生かし「豊岡型ライフスタイル」を創造、実行する調査・研究を東北大学と共同で進めます。

□バイオマスタウンの推進 6108万円

地域資源循環システムの実現を目指し、公共施設にペレットストーブ、ペレットボイラーを導入します。また、既存のペレットボイラーシステムの熱効率を確保します。

## 持続可能な「力」を高めるまち

□観光事業の推進

1億662万円  
さまざまな媒体を活用した効果的な広告宣伝や情報発信、国内外からの誘客促進、メディア・旅行エージェント等へのアプローチ、地域の特色を生かした集客イベントへの支援などにより観光客の誘致・拡大を図ります。

□豊岡農業スクールの開校

672万円

就農意欲の高い若者に生産技術力、経営管理能力、および環境創造型農業を習得していただき、将来の独立自営就農または雇用就農につなげます。

□コウノトリ育む農法の推進

1104万円

コウノトリ育む農法の普及拡大のため、市内の水稲栽培農家全戸を対象に意向調査を実施します。また、新たに5集落を対象にコウノトリ育む農法集落まるごと事業やコウノトリ大豆の普及拡大への支援を行います。

□特産物振興対策

185万円

黒大豆に加えて朝倉さんしよの産地形成を図るため、助成を行います。

□人・農地プランの推進

347万円

地域農業マスタープランを作成した組織に対し、プラン作成支援費を交付します。

□生産調整の推進

200万円

米の需給調整を推進するため、需給調整米の生産性向上への取組みに対し助成金を交付します。

□城崎系但馬牛PR事業

19万円

希少系統となっている城崎系但馬牛の認知度向上のためパンフレットやのぼり旗等を作成し、広くPRを行います。

□畜産飼育支援

68万円

繁殖和牛農家が一定の休暇を取得する際に、ヘルパー導入による補助支援を行います。

□ヤマビル防除対策

26万円

ヤマビルの拡散を抑制するため、防除薬剤を配布します。

□Weeぷらざ、江原駅東西駐車場の改修

1350万円

JR江原駅の東西を結ぶWeeぷらざは、劣化が著しい広場部分を改修し、東西駐車場も補修します。

□都市公園の整備等

8220万円

東山公園の繁茂した樹木の伐採と展望台の修繕、神武山公園の旧水道タンクの撤去と跡地の公園整備を行います。

未来を拓く人を育むまち

□学校施設老朽度調査の実施

1750万円

建物の長寿命化でコスト低減を図り、計画的に老朽化対策を行うため、既存施設の老



▲新庁舎の建設(建設中の新庁舎)



▲出石永楽館歌舞伎の開催



▲コウノトリ育む農法の推進(コウノトリ育むお米)

朽度調査を行います。

□給食センターの整備

4億8410万円

安全安心な学校給食の提供のため、出石施設の改築、豊岡施設の炊飯施設の増築、日高施設の食物アレルギー専用調理室の増築工事等を行います。

人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

□出石永楽館歌舞伎の開催

4863万円

文化都市豊岡のイメージアップと市外からの交流人口拡大を図ります。

□文化財保護事業

2072万円

旧中和家住宅の活用に向けた保存修理などを行います。

□港西小学校夜間照明改修工事

900万円

生涯スポーツの充実を図るため、老朽化した港西小学校の夜間照明設備を整備します。

□奥山地区地域再生拠点等プロジェクト支援事業

3600万円

「出石町奥山地区」の地域資源を活用整備することにより、交流人口増や将来的定住人口増による地域の活性化を目指

し、併せて集落機能の持続を図ります。

基本計画の実現に向けて

□議会インターネットライブ

中継への取組み

218万円

対話と共感のまちづくりを進めるため、市議会の様子を9月議会からインターネットライブ中継で公開します。

□新しいコミュニティのあり方の検討

167万円

地域ごとの課題を地域内で解決できる新たな組織や活動拠点のあり方等について、市民による委員会を設置して検討を進め、「新しいコミュニティ」のあり方実施計画」を策定します。

□第3次行政改革大綱策定に向けての取組み

400万円

行政改革を徹底的に推進します。職員の意識改革を図るため、行動観察手法を用いた職員意識調査を実施します。

□新庁舎の建設

7億7216万円

8月の開庁に向けて、建築工事や設備工事の7月25日完成を目指します。また、駐車場や屋外整備工事などを行います。